

## 「臨床家のための、産業メンタルヘルス実践セミナー」

産業メンタルヘルスに関わる専門家への、社会の要請はいや増すばかりです。こうした要請に応えるべく、当財団では「臨床家のための、産業メンタルヘルス実践セミナー」として開講しています。

このセミナーでは、産業メンタルヘルス領域で働くための実践能力の養成を目的とします。セミナーは精神分析的あるいは精神力動的な考え方に基づいていますが、受講者には精神分析的な知識があることを求めません。また、産業メンタルヘルス領域の臨床経験のない大学院生や若手の臨床家も含め、幅広い方々を対象に考えております。産業メンタルヘルスの実践能力を高めたいと希望しておられる方に加えて、知らない実践領域について見てみたいとお考えの方、日頃関わっていない臨床実践を比較対象にして自らの臨床実践を振り返ってみたいとお考えの方など、いずれも歓迎です。奮ってご参加ください。

### 1. 対象者および募集人数

- ・ 対象者：臨床心理士、精神科医、産業医、産業看護職、精神保健福祉士等  
守秘義務を守ることのできる臨床家
- ・ 募集人数：20名

### 2. 講師

白波瀬丈一郎（精神科医：慶應義塾大学）、三浦有紀（臨床心理士：慶應義塾大学）、松山公一（臨床心理士：富士通株式会社）、三宅琢（産業医：株式会社 Studio Gift Hands）、辻廣享子（企業内産業看護職）、三柴丈典（法律家：近畿大学）他、産業メンタルヘルス領域で活動する人事担当者を予定。（敬称略）

### 3. 内容

本セミナーは、講義と事例検討（シナリオ・ロールプレイを含む）の二部構成となります。前半の講義では、多職種の講師が各立場から産業メンタルヘルスの実践についてお話しします。後半の事例検討では、事例検討やシナリオ・ロールプレイを通して実践的技能の獲得を目指します。なお、事例は受講者からも募集します。事例は産業領域のものには限りません。

### 4. 期間

2017年5月から2018年3月まで月1回、全10回。

### 5. 日時

5月-9月は原則第4日曜日。10月-3月は原則第2日曜日。

午後1時から5時半まで

### 6. 参加費

80,000円（大学院生の方は、60,000円）

【年間予定】 講義 13時～15時、事例検討 15時半～17時半

- 第1回 2017年5月28日  
「KEAP（キープ：KEIO Employee Assistance Program）について ①、②」  
講師：白波瀬 丈一郎
- 第2回 2017年6月25日  
「わが国の産業精神保健の歴史：KEAPの基礎をなすもの」  
講師：白波瀬 丈一郎  
「事例検討 ①」  
事例提示：高橋 智子
- 第3回 2017年7月23日  
「KEAPにおける、臨床心理士の役割」  
講師：三浦 有紀  
「事例検討 ②」  
事例提示：受講者
- 第4回 2017年9月24日  
「臨床心理士からみた、産業メンタルヘルスの実践とは」  
講師：松山 公一  
「シナリオ・ロールプレイ ①」  
ファシリテーター：白波瀬 丈一郎、三浦 有紀
- 第5回 2017年10月15日  
「産業医からみた、産業メンタルヘルスの実践とは」  
講師：辻廣 享子  
「シナリオ・ロールプレイ ②」  
ファシリテーター：白波瀬 丈一郎、三浦 有紀
- 第6回 2017年11月12日  
「産業保健における看護職の役割と活動の実際」  
講師：三宅 琢  
「事例検討 ③」  
事例提示：受講者
- 第7回 2017年12月10日  
「人事担当者からみた、産業メンタルヘルスの実践とは（仮題）」  
講師：調整中  
「事例検討 ④」  
事例提示：受講者
- 第8回 2018年1月14日  
「人事担当者からみた、産業メンタルヘルスの実践とは（仮題）」  
講師：未定  
「事例検討 ⑤」  
事例提示：受講者

第9回 2018年2月18日

「産業メンタルヘルスと法～現場課題への法的処方箋」

講師：三柴 丈典 先生

「事例検討 ⑥」

事例提示：受講者

第10回 2018年3月11日

「まとめ」

講師：白波瀬 丈一郎

セミナーの後半での事例検討では、受講者に交代で事例を提出していただきます。ただし事例検討①は、KEAPの臨床心理士が事例提示を担当します。

事例は、産業領域のものに限定しません。スクールカウンセリングのように組織との連携が必要となる事例でも結構ですし、個人心理療法の事例にも対応いたします。さまざまな事例を通して、白波瀬と、KEAPの臨床心理士である三浦がKEAPの実践経験に基づいたスーパービジョンを行います。

### 【セミナー要旨】

本セミナーの企画者である白波瀬は、2009年から精神力動的な考え方に基づいた内部EAP型の新たなメンタルヘルス支援プログラム（KEAP：キープ）をある企業と共同開発中です。その活動の中で明らかになってきたのは、産業メンタルヘルスの臨床は優れて実践的かつ治療的（あるいは成長促進的）であるということです。それだけにそこで働く臨床家には、高い臨床能力と柔軟なコミュニケーション能力、および全体を見渡す俯瞰力とバランス感覚が求められます。たとえば、メンタルヘルス不調に陥った労働者（以下「不調者」と呼びます）の精神症状を単に評価するだけでは不十分です。彼ら一人一人を一つの統一体として捉え、今後も働き続けていくために、活用できる彼らの能力を見立てると共に、彼らが取り組むべき課題を同定する必要があります。

加えて、不調者が所属する職場およびその企業における、「支援する能力」を見立てることも重要です。というのは、不調者自身に対していくら適切な支援プランを立てたとしても、それを実行するだけの「支援する能力」が職場や企業になければ、そのプランは単なる机上の空論にしかならないからです。「支援する能力」をより具体的に表現すれば、それは人事担当者や職場管理監督者など不調者を取り巻く人々がメンタルヘルスに対してどのような理解を持ち、臨床家と協働してどの程度の支援を実行できる力があるかということになります。こうした「支援する能力」を事例毎に見立てて、不調者にとって適切であると同時に、不調者を取り巻く人々にとっても実行可能な支援プランを作成しなくてはなりません。さらに、不調者やその周囲の人々が主体的に参加できるように、支援プランの内容とその意図をわかりやすく説明し伝えることのできる柔軟なコミュニケーション能力もまた臨床家には求められます。

そして、何よりも産業メンタルヘルス活動を実践する臨床家に求められるのは、不調者と企業のどちらにも偏ることなく、両者の利益を最大限に実現するための、全体を見渡す俯瞰力とバランス感覚です。

これらの能力を獲得いただけるよう、1年間一緒に勉強していきたいと思っております。

小寺記念精神分析研究財団主催／2017年度

「臨床家のための、産業メンタルヘルス実践セミナー」  
参加申込書

本参加申込書は**5月19日（金）**までに下記に到着するようにお送り下さい。

（E-mail でのお申し込みは、件名：「産業メンタルヘルス実践セミナー申し込み」として下さい。記入済みの申込書を添付していただくか、下記の項目を本文にすべて記入しお送りください）。なお定員を大幅にこえた場合の人数は当方にお任せいただきます。

〒160-0004 東京都新宿区四谷3-4 SCビル6階 小寺記念精神分析研究財団

産業メンタルヘルス実践セミナー係 Fax：03-3350-9749／E-mail：kodera.kt@nifty.com

氏名		女性	男性（19年生）
連絡先	〒 —		
TEL/FAX	/		
e-mail アドレス			

勤務先・職種（具体的に記入してください。例えば「無床精神科診療所・常勤のPSW」など）。

現在実施中の産業メンタルヘルス活動を記入してください（あるいは、近く取り組みたい・いずれ取り組みたい産業メンタルヘルス活動でも結構です）。

本セミナーへの参加動機を記入してください。

セミナー期間中、スーパービジョンを受けるために提出したい自分の事例についての概略を記入してください（希望の時期があれば合わせて記入してください）。

本セミナーをどのようにしてしましたか？該当する箇所に○をお付け下さい。

郵便・ホームページ・メール・知人の紹介・その他（ ）

※記載いただいた個人情報はセミナーのご連絡およびご案内のみに使用いたします。